

仏説観無量壽經

その光金色にして徧く十方無量の世界
を照らし仏頂に還り住まりて化して金
台となる須弥山のごとし十方諸仏の淨
妙の国土皆中において現ずあるいは國
土あり七宝をもて合成せりまた国土あ
り純らこれ蓮華なりまた国土あり自在
天宮のごとしまた国土あり玻瓈鏡のご
とし十方の国土皆中において現ずかく
のごとき等の無量の諸仏国土の巖頭に
して觀つべきあつて韋提希をして見せ
しめたまふ 時に韋提希仏にもうして
もうやく世尊この諸もろの仏土また清
淨にして皆光明ありといえども我れ今
極樂世界の阿彌陀仏の所に生ぜんこと
を樂うただ願わくは世尊我れに思惟を
教えたまえ我れに正受を教えたまえ
その時世尊すなわち微笑したまふに五
色の光あつて仏口より出づ

為

令和

年

月

日

氏

名

淨寫